



令和6年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和6年8月14日

上場会社名 ジョルダン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3710 URL <https://www.jorudan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 俊和
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 岩田 一輝 (TEL) 03-5369-4051
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年9月期第3四半期の連結業績(令和5年10月1日~令和6年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年9月期第3四半期	2,281	△1.5	△136	—	17	△58.9	△21	—
5年9月期第3四半期	2,317	17.3	12	—	43	△62.4	△178	—

(注) 包括利益 6年9月期第3四半期 △6百万円(—%) 5年9月期第3四半期 △178百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年9月期第3四半期	△4.21	—
5年9月期第3四半期	△34.92	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年9月期第3四半期	5,509	4,544	82.1
5年9月期	5,704	4,660	81.2

(参考) 自己資本 6年9月期第3四半期 4,524百万円 5年9月期 4,631百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年9月期	—	0.00	—	6.00	6.00
6年9月期	—	0.00	—	—	—
6年9月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年9月期の連結業績予想(令和5年10月1日~令和6年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,100	3.2	10	—	70	3.8	100	—	19.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

6年9月期3Q	5,255,000株	5年9月期	5,255,000株
6年9月期3Q	154,284株	5年9月期	154,280株
6年9月期3Q	5,100,718株	5年9月期3Q	5,100,720株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、今後の経済情勢、市場動向に関わるリスクや不確定要因等様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（令和5年10月1日～令和6年6月30日）におきましては、わが国の景気は足踏みも見られるものの緩やかに回復してまいりました。但し、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響や中国経済の先行き懸念等、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっております。

情報通信業界におきましては、企業のソフトウェア投資は増加が続いており、情報サービス業及びインターネット附随サービス業の売上高についても前年同四半期（令和4年10月1日～令和5年6月30日）と比べ増加となりました。また、1世帯当たりのインターネットを利用した支出についても増加となりました。このような中、生成AIを始めとするAI（人工知能）技術の高度化・実用化の進展等、情報通信に関する市場環境の変化は更に加速してまいりました。また、交通サービスの領域におきましても、「MaaS（Mobility as a Service）」（モビリティのサービス化）の流れが進展してまいりました。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響を契機とした移動や外出についての質的・量的変化は、「MaaS」の展開にも大きな影響を与えております。

当社グループにおきましても、この市場環境の変化に対応した事業展開のための基盤整備に取り組んでおり、「乗換案内」の各種インターネットサービスは多くの方々に広くご利用いただくに至っております。新型コロナウイルス感染症による直接的な影響等は無くなり、現状では訪日旅行者の増加等を含め人々の移動需要の持ち直しは続いており、今後の更なる増加にも期待を持てる状況となっております。

このような環境の中で、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は2,281,194千円（前年同四半期比1.5%減）、営業損失は136,132千円（前年同四半期は12,798千円の利益）、経常利益は17,788千円（前年同四半期比58.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は21,494千円（前年同四半期は178,141千円の損失）という経営成績となりました。

売上高につきましては、ソフトウェア事業セグメントの売上高がやや増加した一方で、ハードウェア事業セグメントの売上高が減少したこと等により、全体として前年同四半期と比べ若干の減少となりました。営業損益につきましては、利益率の高い事業の売上高の減少や、外注費やハードウェア導入費用等の売上原価の増加、研究開発費等の販売費及び一般管理費の増加等の影響が大きく、損失が発生いたしました。経常利益につきましては、為替差益や助成金収入の増加の影響が大きく、前年同四半期と比べ減少したものの黒字を確保いたしました。親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、固定資産売却益が減少したものの、減損損失が大きく減少した影響等により、前年同四半期と比べ大幅に改善いたしました。

セグメント別の経営成績の状況は、次のとおりです。

乗換案内事業

乗換案内事業では、旅行等の売上高等が前年同四半期と比べ増加したものの、モバイル向け有料サービス等の売上高が減少したこと等により、セグメント全体の売上高は前年同四半期並みとなりました。損益面では、各製品・サービスの利益率の違いや、法人向けの製品・サービスにおける外注費やハードウェア導入費用等の売上原価の増加等の影響が大きく、セグメント全体の利益は大きく減少いたしました。

それらの結果、売上高1,874,862千円（前年同四半期比0.3%減）、セグメント利益139,184千円（前年同四半期比44.9%減）となりました。

マルチメディア事業

マルチメディア事業では、売上高は前年同四半期と比べ増加いたしました。また、これに伴い、セグメント全体の損益も改善いたしました。

それらの結果、売上高9,613千円（前年同四半期比53.8%増）、セグメント損失6,439千円（前年同四半期は10,360千円の損失）となりました。

ソフトウェア事業

ソフトウェア事業では、案件の受注・納品が順調に推移したこと等により、セグメント全体の売上高は前年同四半期と比べやや増加いたしました。一方で、売上原価等の費用についても増加しており、セグメント全体の利益は減少いたしました。

それらの結果、売上高327,429千円（前年同四半期比5.6%増）、セグメント利益21,105千円（前年同四半期比

40.2%減)となりました。

ハードウェア事業

ハードウェア事業では、前第1四半期連結会計期間末から株式会社エアーズを連結の範囲に含めた(前年同四半期の経営成績には同社の業績が6ヶ月分しか含まれていない)影響があるものの、同社以外の会社を含め案件の受注・納品が順調に推移しておらず、セグメント全体の売上高は前年同四半期と比べ減少いたしました。また、これに伴い、セグメント全体の損失も拡大いたしました。

それらの結果、売上高128,340千円(前年同四半期比33.6%減)、セグメント損失62,328千円(前年同四半期は44,971千円の損失)となりました。

その他

その他セグメントでは、売上高・損益ともに前年同四半期と概ね同程度となりました。

それらの結果、売上高7,826千円(前年同四半期比3.5%増)、セグメント損失1,673千円(前年同四半期は2,659千円の損失)となりました。

なお、上記のセグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を相殺しておりません。また、セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書における営業損益をベースとしておりますが、各セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間の内部取引費用の控除前の数値であり、合計は連結営業損益と一致しておりません。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末(令和5年9月末)と比較しますと、資産は195,152千円減の5,509,547千円、負債は78,842千円減の965,539千円、純資産は116,310千円減の4,544,007千円となりました。

資産

資産は、流動資産につきましては、195,975千円減の3,938,381千円となりました。これは、現金及び預金が112,419千円減の3,169,398千円、受取手形、売掛金及び契約資産が107,344千円減の547,534千円となったこと等によるものです。現金及び預金の減少は、固定資産の取得並びに配当金及び法人税等の支払等によるものです。受取手形、売掛金及び契約資産の減少は、当第3四半期連結会計期間の売上高が、前連結会計年度の第4四半期連結会計期間と比べ減少したこと等によるものです。

固定資産につきましては、822千円増の1,571,165千円となりました。これは、有形固定資産が71,364千円増の833,884千円、無形固定資産が16,422千円減の100,414千円、投資その他の資産が54,119千円減の636,865千円となったことによるものです。有形固定資産は、サーバー等の設備を取得したこと等により、増加いたしました。無形固定資産は、取得に伴う増加の一方で償却による減少が進み、全体としてはやや減少いたしました。投資その他の資産は、投資有価証券や繰延税金資産の減少等により、減少いたしました。

負債

負債は、流動負債につきましては、60,348千円減の932,516千円となりました。これは、未払法人税等が29,924千円減の15,523千円、契約負債が24,135千円減の439,431千円となったこと等によるものです。未払法人税等の減少は、法人税等の支払等によるものです。契約負債の減少は、ハードウェア事業に係る契約負債が減少したこと等によるものです。

固定負債につきましては、長期借入金及びリース債務の返済等により、18,494千円減の33,022千円となりました。

純資産

純資産は、株主資本につきましては、122,067千円減の4,447,372千円となりました。これは、資本剰余金が69,965千円減の384,550千円、利益剰余金が52,099千円減の3,906,984千円となったこと等によるものです。資本剰余金の減少は、子会社株式の追加取得等によるものです。利益剰余金の減少は、親会社株主に帰属する四半期純損失の発生並びに剰余金の配当等によるものです。

その他の包括利益累計額につきましては、為替換算調整勘定の増加により、15,187千円増の77,513千円となりました。

非支配株主持分につきましては、子会社株式の追加取得等により、9,431千円減の19,121千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、令和6年5月14日付「営業外収益（為替差益及び助成金収入）の計上、第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (令和6年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,281,817	3,169,398
受取手形、売掛金及び契約資産	654,879	547,534
商品及び製品	8,088	7,521
仕掛品	150	1,075
原材料及び貯蔵品	40	40
前渡金	56,251	63,691
その他	189,371	177,016
貸倒引当金	△56,240	△27,896
流動資産合計	4,134,357	3,938,381
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	278,473	276,010
機械装置及び運搬具（純額）	5,728	6,302
工具、器具及び備品（純額）	62,952	136,206
土地	415,365	415,365
有形固定資産合計	762,520	833,884
無形固定資産		
ソフトウェア	115,308	98,886
その他	1,528	1,528
無形固定資産合計	116,836	100,414
投資その他の資産		
投資有価証券	422,941	403,269
敷金及び保証金	163,177	156,851
長期貸付金	940	2,380
繰延税金資産	34,587	21,008
その他	73,574	57,591
貸倒引当金	△4,235	△4,235
投資その他の資産合計	690,985	636,865
固定資産合計	1,570,342	1,571,165
資産合計	5,704,699	5,509,547

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (令和6年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	242,762	226,436
1年内返済予定の長期借入金	15,636	15,636
リース債務	7,118	9,118
未払費用	75,208	82,136
未払法人税等	45,448	15,523
未払消費税等	27,787	15,890
契約負債	463,567	439,431
賞与引当金	41,245	31,796
役員賞与引当金	1,400	1,050
受注損失引当金	656	-
その他	72,034	95,496
流動負債合計	992,865	932,516
固定負債		
長期借入金	32,732	21,005
リース債務	16,306	9,027
その他	2,478	2,989
固定負債合計	51,516	33,022
負債合計	1,044,381	965,539
純資産の部		
株主資本		
資本金	277,375	277,375
資本剰余金	454,515	384,550
利益剰余金	3,959,083	3,906,984
自己株式	△121,534	△121,537
株主資本合計	4,569,439	4,447,372
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	62,325	77,513
その他の包括利益累計額合計	62,325	77,513
非支配株主持分	28,552	19,121
純資産合計	4,660,318	4,544,007
負債純資産合計	5,704,699	5,509,547

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年10月1日 至 令和6年6月30日)
売上高	2,317,065	2,281,194
売上原価	1,295,357	1,356,185
売上総利益	1,021,708	925,009
販売費及び一般管理費	1,008,909	1,061,141
営業利益又は営業損失(△)	12,798	△136,132
営業外収益		
受取利息	3,484	9,491
受取配当金	1,479	1,479
為替差益	5,145	84,642
受取事務手数料	245	245
助成金収入	21,793	57,983
受取家賃	6,088	6,897
雑収入	1,009	3,553
営業外収益合計	39,245	164,292
営業外費用		
支払利息	219	2,930
持分法による投資損失	829	1,477
投資事業組合運用損	958	737
貸倒引当金繰入額	2,250	27
賃貸収入原価	2,509	5,194
雑損失	2,024	5
営業外費用合計	8,791	10,372
経常利益	43,252	17,788
特別利益		
固定資産売却益	69,044	582
特別利益合計	69,044	582
特別損失		
固定資産除却損	327	0
減損損失	237,623	1,625
関連会社株式評価損	-	4,883
投資有価証券評価損	-	1,859
投資有価証券清算損	3,543	-
特別損失合計	241,494	8,368
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△129,197	10,001
法人税等合計	50,533	31,514
四半期純損失(△)	△179,731	△21,512
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,589	△17
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△178,141	△21,494

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年10月1日 至 令和6年6月30日)
四半期純損失(△)	△179,731	△21,512
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,498	15,386
その他の包括利益合計	1,498	15,386
四半期包括利益	△178,233	△6,126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△176,564	△6,306
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,668	180

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 令和4年10月1日 至 令和5年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	乗換案内 事業	マルチ メディア事業	ソフト ウェア事業	ハード ウェア事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	1,877,051	6,242	233,043	193,168	2,309,507	7,558	—	2,317,065
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3,019	9	76,933	—	79,961	—	△79,961	—
計	1,880,071	6,251	309,976	193,168	2,389,468	7,558	△79,961	2,317,065
セグメント利益又は 損失(△)	252,461	△10,360	35,294	△44,971	232,423	△2,659	△216,965	12,798

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連機器リース業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△216,965千円には、のれん償却額△10,101千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△206,863千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ハードウェア事業」セグメントにおいて、のれん等の減損損失237,623千円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「ハードウェア事業」セグメントにおいて、株式会社エアーズの株式を取得したことに伴い、のれんが増加いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、202,035千円であります。

また、当該のれんの減損損失を計上しております。当該事象によるのれんの減少額は、191,933千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 令和5年10月1日 至 令和6年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	乗換案内 事業	マルチ メディア事業	ソフト ウェア事業	ハード ウェア事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	1,874,862	9,613	260,552	128,340	2,273,368	7,826	—	2,281,194
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	66,876	—	66,876	—	△66,876	—
計	1,874,862	9,613	327,429	128,340	2,340,245	7,826	△66,876	2,281,194
セグメント利益又は 損失(△)	139,184	△6,439	21,105	△62,328	91,522	△1,673	△225,981	△136,132

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連機器リース業等を含んでおります。
 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年10月1日 至 令和6年6月30日)
減価償却費	99,325千円	91,974千円
のれんの償却額	10,101千円	一千円